

福島から考える 日本社会と多様性

今回は、教師として在職中に起こった東日本大震災と原発事故の後、勤務校の生徒とともに福島・宮城の被災地域を訪れる「東北訪問合宿」をくりかえす中で、自分自身が福島で何かしたいと退職、福島県に移住し3年。

「お互いの違いを認めあい、一人ひとりが自分らしく暮らせる日本社会を目指し、人を幸せにするために学び続けてほしい」という前川さんをお迎えします。

私たちも、いっしょに考えてみませんか。



前川 直哉さん:

1977年兵庫県生まれ。灘高校3年在学中に阪神・淡路大震災で被災。東大教育学部、京大大学院卒業後、灘中学・高校教諭として勤務。2014年退職し福島に転居し「ふくしま学びのネットワーク」を設立。2015年には福島県で多様性(ダイバーシティ)の重要性を考える市民団体も立ち上げ、共同代表。

5月27日(土)13:30-15:30

会場:コープこうべ生活文化センター404

参加費:無料

申込み & 問合せ・・・兵庫県ユニセフ協会(平日10時～16時)

電話 078-435-1605

FAX 078-451-9830